

## 屋久島縦走

【報告者】N谷

【日時】2018年5月3日～5日

【天候】ほぼ晴れ

【参加者】N谷、Y子

### 《コースタイム》

5/3 紀元杉バス停 14:49～淀川登山口～淀川小屋泊 16:11

5/4 淀川小屋 6:00～宮之浦岳 10:27～新高塚小屋泊 13:30

5/5 新高塚小屋 7:00～縄文杉～辻峠～太鼓岩～白谷雲水峡バス停 14:50

### 《報告》

5/3 九州自動車道(車)→鹿児島港(高速船)→宮之浦港(バス)→紀元杉バス停。今回は偶然、T田さんチームと全く同じ日、同じルート。O原さんチームとも同日程の屋久島。やはりGWの屋久島は人気が高い。また高速船もバスも混雑状態でありました。昼過ぎに宮之浦でT田さんと会い淀川小屋まで同行しましたが、初日は移動時間も短くすんなりと淀川小屋に到着。しかし小屋もテン場も混みあっていて、何とか隙間を見つけてテント設営。早めの夕食を済ませると屋久島でも標高1380mのせいかな寒かったため軽くお湯割りを飲んで早めの就寝。

5/4 5時起床～6時出発。夜は寒くて余り眠れず。。シュラフの選択を間違えました。。尾之間歩道では団体ツアーを追い抜きながら快調に湿原を通過。屋久島ではあちこちに変わった形の大きな岩があり見ていて飽きません。これも屋久島の魅力ですね。

黒味別れでは黒味岳に登ろうかと思いつつもこの先はまだ長く、膝の不安もあったため登らずに通過。今思えば登っておくべきでした。。

栗生岳を超えたあたりから急に強風が吹き出しましたが、宮之浦岳はもうすぐそこ。急に雲が増えた時に山頂1936mに到着したため視界不良で景色は楽しめませんでした。しかし偶然にも山頂でまさかのO原さんチームと遭遇！(反対側からの登頂)記念撮影をしてからは強風から逃げるようにすぐに下山。

その後も月光仮面に見える岩を見ながら快適に宮之浦歩道を歩く。シャクナゲはまだ蕾でしたがツツジは綺麗に咲いておりました。この日は予定よりもだいぶ早く新高塚小屋に到着。小屋が空いていたので小屋泊に決定。夕方には小屋もテン場も一杯になりましたが、小屋内にテントを張る不届きものが2組いてマナーの悪さががっかりしました。ちなみにお隣はポーランド人のボルトさんでしたが、英語が話せないので余りコミュニケーションを取る事が出来ませんでした(残念)。

5/5 最終日は時間に余裕があったので7時に出発。既に皆さん出発済でした。快適な新高塚小屋を出て1時間程で縄文杉に再会。数年ぶり3回目の縄文杉は時間的に人もまばらでゆっくりと眺める事が出来ました。ただここからの下りは縄文杉を見に来る登山客との離合が大変。ウイルソン株を過ぎてても対向者が多く、いかにも登山初心者かな?という人も多く見ながらトロッコ道を通り辻峠へ。ここから太鼓岩へ寄り道をしましたがこれが大正解。宮之浦岳をはじめ屋久島の山々が岩の上から綺麗に眺める事が出来ました。

最後は苔の美しい白谷雲水峡を通りバス停へ到着。下山後はO原さんチームと無事に民宿で合流出来ました。振り返れば3日間雨が降らず、屋久杉・花・清流・苔そして開聞岳までも見渡せる好天でありました。屋久島にはまだ行った事の無いルート、愛子岳・太忠岳・モッコム岳・黒味岳などがあり機会があれば是非また行ってみたいと思っております。